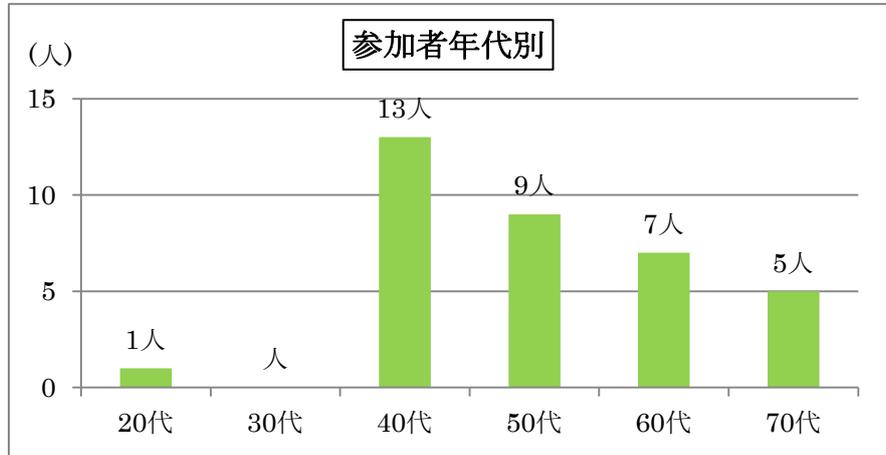


《アンケート集計》

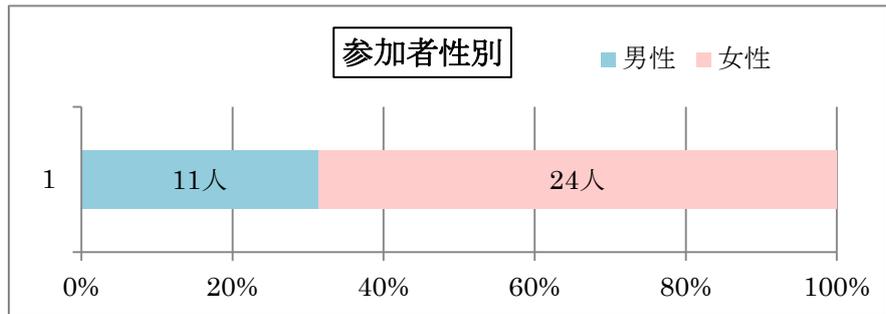
◆事前のお申込み35名に対し、当日は49名の皆様にご参加いただきました。

1. 参加者の年齢・性別

年代	人数
20代	1
30代	0
40代	13
50代	9
60代	7
70代	5
アンケート未提出	14
参加者合計	49

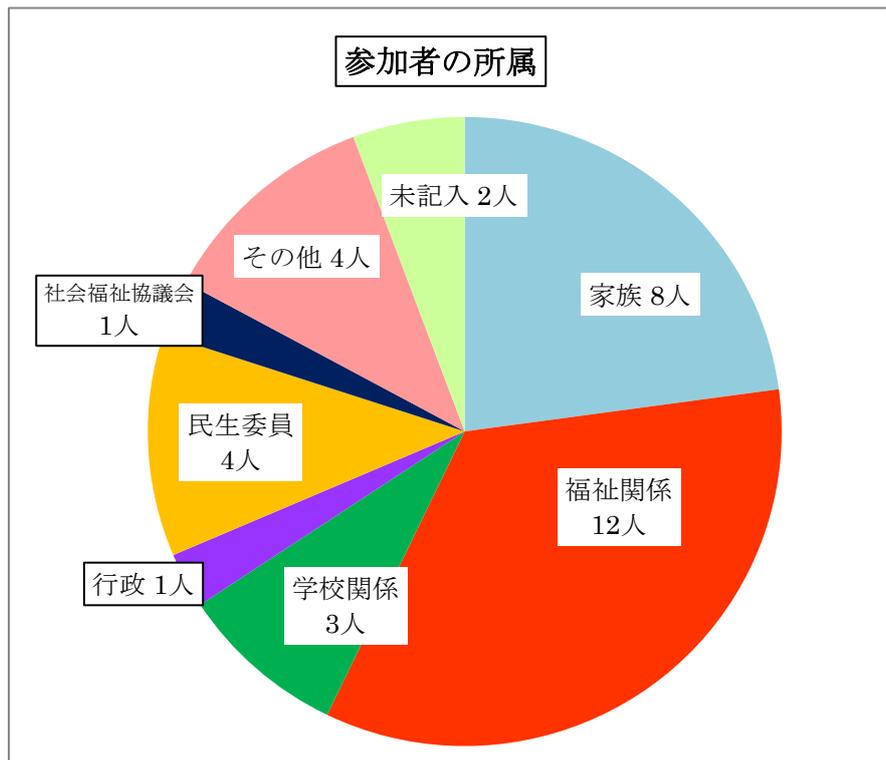


性別	人数
男性	11
女性	24
アンケート未提出	14
参加者合計	49



2. 参加者のご所属等

分類	人数
家族	8
福祉関係	12
学校関係	3
行政	1
学生	0
民生委員	4
社会福祉協議会	1
その他	4
未記入	2
アンケート未提出	14
参加者合計	49

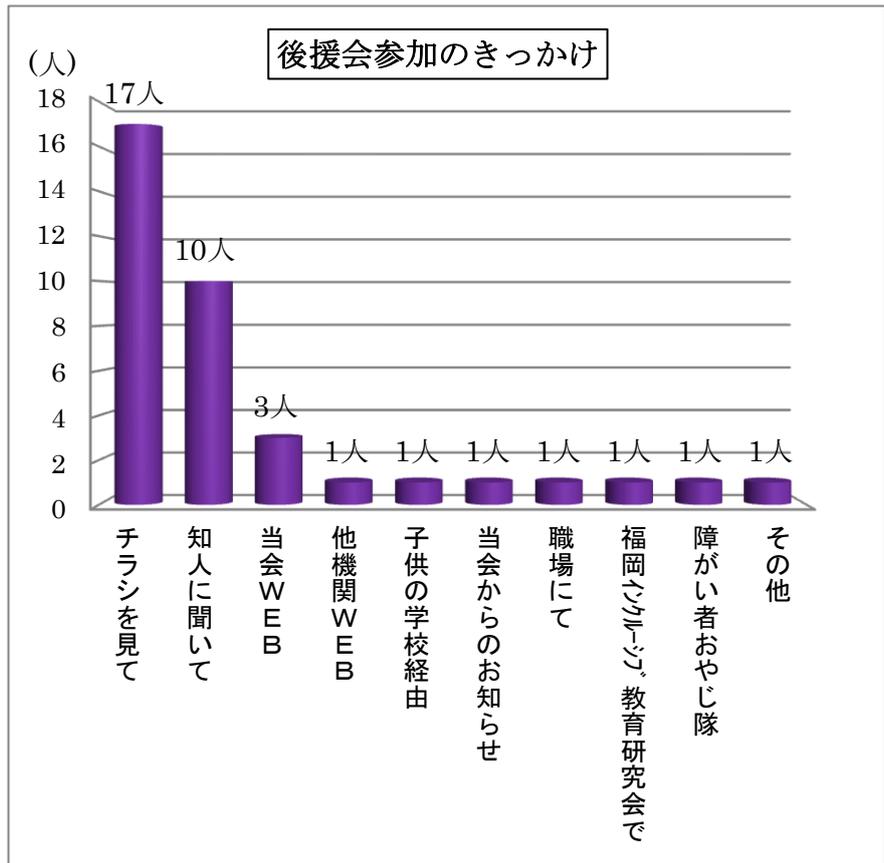


〈その他の内訳〉

元教員・主婦など

3. 講演会を何でお知りになりましたか？

参加のきっかけ	人数
チラシを見て	17
知人に聞いて	10
当会WEB	3
他機関WEB	1
子供の学校経由	1
当会からのお知らせ	1
職場にて	1
福岡インクルーシブ教育研究会で	1
障がい者おやし隊	1
その他	1



4. 基調講演を聞かれた感想などあればお書きください。

家族・女性	とても良かった
福祉関係・男性	インクルーシブ教育の方向性など具体的に知ることができ良かったです。
家族・男性	素晴らしいお話でしたが、現場の画像等、動きがあればもっと良かったかも・・・です。
40代女性	わかりやすく支援教育のことの説明もあり、福岡市の教委会の考え方も伝えていただき、国と自治体との考え方の違い、温度差があることがわかった。
学校関係・女性	これまでのあゆみ、現在の国の制度、課題、現状、これから・・・と流れも分かり、とても勉強になりました。
家族・女性	障がいのある子とない子ができるだけ同じ場で共に学ぶことを目指すべきと国が定義づけられていることは知らなかった。国は応援しているので、予算ありきな考え方に偏ることなく、自分ができることは何か？と意識づけを自らに課すことも大切だと感じた。内容が少し固い印象があった。

福祉関係・女性
文部科学省のインクルーシブに対する方針が聞けてよかったです。また、特別支援学校のここ数年の生徒数の増加の表は一目瞭然でよかったです。
福祉関係・男性
少しむづかしい話ではありましたが、政府行政の積極的な動きを理解できました。
福祉関係・女性
特別支援教育のこれまでの流れ、文科省からのこれからの地域に根ざした特別支援教育の方向性を詳しく学ぶことができました。まだまだやるべきことがあるなど分かりました。ありがとうございました。
福祉関係・男性
「国の理念が先行して、むしろ、自治体や現場が前向きになりきれてない」という情勢(状況)は、教育分野も同じなんだなと思いました。
行政関係・男性
障がい児教育のあゆみと現状がよくわかりました。インクルーシブ教育は地道に続けることで国の掲げる理念に追いつくと思いますし、そうならないといけないと思いました。
その他・女性
初めてこのような講演会に参加しました。国の取組みや地方自治の取組み、隣人とのかわりなど、改めて考えるところがありました。
福祉関係・女性
基本的なとても大切な部分を講演していただきましたが、青葉特別支援学校時代のエピソード等もお聴きしたかったと思います。
民生委員・女性
特別支援教育の理念を紹介して頂き、その志の高さに感動しました。学校教育法や教育基本法の中にも特別支援教育の大切さが守られていると思いました。
家族・女性
文部科学省のインクルーシブ教育に対する考え方は素晴らしいと思いますが、それが自治体(役所・役場の福祉課)や学校、地域に浸透することを切に願います。まずはやはり”他人事”ではなくする事。知る事。知らせる事。まじわる事が大切。そこから始めることが重要なのかなと思いました。
学校関係・女性
国の提言に感動した。予算は足りないかもしれないが、考え方を考えることはできるのではないかと思った。
家族・女性
とても良かった
学校関係・女性
青葉校区の自治会長さんが特別支援の子ども地域の子どものも思っている、ということば、すばらしいと思いました。

福祉関係・女性
障がい児教育について再認識できた。
家族・女性
地域とのつながりの大切さをあらためて感じました。
福祉関係・男性
国のレベルではすでに立派な制度や仕組みが出来ているという話は想定外でした。むしろ地方のレベルアップがこれから重要ですよ、という話に同感。
その他・男性
非常にわかりやすい。
民生委員・女性
とても勉強になりました。
福祉関係・女性
インクルーシブ教育のおくれを痛感していますが、小関先生のお話を伺い、前向きに考えていけそうです。
民生委員・女性
特別支援教育の理念、地域を拓く特別支援教育の内容など、とてもよい勉強をさせていただきました。
その他・女性
もう4回も開催されていた事も知らずにいたことを知る事ができたことに感謝です。
家族・女性
国の理念、市のとりくみ、くわしく聞けて大変勉強になりました。

5.シンポジウムを聞かれての感想などあればお書きください。

家族・女性
地域の様子や取り組みを聞いてよかったです。
福祉関係・男性
それぞれの立場でのお話が聞け、参考になりました。
家族・男性
地域との連携の仕方等、随分と役に立ちました。
40代女性
鳥越さん、本題に入るまで、ながい……。
学校関係・女性
青葉校区の取り組み、生の声を聞くことができよかったです。
家族・女性
特別支援学校を地域に拓くには、環境と火付け役のファシリテートが重要な印象があった。連携が大切で、つながり感が切れないようにする取組みがどうすれば般化できるのかと考えたが、自分の地域(中央区)ではすぐには思いつかなかった。社協の取組みがキーとも感じたが、実際の事例を聞くと少し乏しさを感じるの否めなかった。今後の展開に期待したいし、もっと活用していくことも考えられると思った。
福祉関係・女性
青葉校区の取り組みをもっと広げていけたらと思います。
福祉関係・男性
具体的な地域の話が聞けて今後の支援に
福祉関係・女性
実際に校区で活動されている方からのお話を聞き、地域の環境に加えて仕組みづくりを推進する流れが生まれたら、大きく社会を動かせるのかも……と気づきました。
福祉関係・男性
「特別支援の子ども”は”地域の子ども”ではない」という現実から課題や展望を搜るという切り口と 今日できている実践を、うまく組み立てた論議(展開)ができれば、さらによかったのでは。課題が鮮明になる。
行政関係・男性
思ったり考えているだけでなく行動することが一番大事と感じました。
その他・女性
地域で活動されている方々の様々なボランティア活動を知って、とても勉強になりました。

福祉関係・女性
それぞれの立場で頑張っていらっしゃる方がいらっしゃって、福祉が支えられレベルアップしていているのだなと思いました。有難うございます！
民生委員・女性
時間に余裕があったと思います。2時間弱の時間枠をとって頂いたので、パネリストさん一人一人が話される時に詳しく、余分な話も聞けてよかったです。
福祉関係・男性
青葉校区の具体的な取り組みを知ることができ興味深かったです。また長い期間発展している地域力の強さはおどろきでした。
福祉関係・男性
青葉地域の支える力の強さに感心しました。
家族・女性
私は「町」に住んでいるので、「市」の事例を聞いてもそれが「町」に住む障がい児・者にも参考になるのか、ならないんじゃないかという不安を持ったのも事実ですが、お話の中にもまずは個人から・・・というお話も出ていましたので、「私はなにができるか？」という視点をもつきっかけを頂いたと思います。
学校関係・女性
中学の教員です。福祉体験学習まさにとりこんでいますが、「福祉」という言葉は、きちんと知っておかねばならない大切な言葉だと思いますが、行政用語のようでわかりにくいので「共生体験学習(共に生きるための体験学習)」としてとりこんでいます。地域のつながりをつくっていくと取り組みをたくさん聞かせていただき、とてもよかったです。
「特別支援の子どもも地域の子」と思うと！と強く言われた自治会長さんの言葉が心に残りました。「地域は末端ではなく先端である」沖縄の読谷町長だった方が言われていた言葉ですが、その言葉を思い出しました。小関先生も言われましたが、人がいなくなってもそれが続いていっていることにも感動しました。
家族・女性
地域でくらすことの大切さを感じました。
学校関係・女性
他の支援学校も東福岡のように拓かれて、地域とつながってほしいと思います。学校が隣接しているという条件は他校では望めませんが、取り入れられる取り組みは多くあると感じました。
福祉関係・女性
地域との連携の重要性を再認識できた。
福祉関係・男性
本日は共生(インクルーシブ)の話でしたが、これから知的・精神・身体のみでなく、高齢・子育ても含めて地域の問題を解決するのは行政のみではなく地域の力がとても必要であることを実感しました。
ボランティアをしたいと思っている方を地域のニーズとどうマッチングさせて行くか社協の役割に期待します。

その他・男性
大変参考になった。
民生委員・女性
ありがとうございました。山本公民館長、中島主事、澤永前自治会長に今日のシンポジウムのお話をお伝えしたいと思います。
民生委員・女性
地域によって温度差のちがいがよくわかりました。
福祉関係・女性
社協さんの活動内容、青葉地区での取り組みは大変勉強になりました。
民生委員・女性
青葉校区の民生委員は校区社協の一員であり、ボランティア講座を通して支援学校とのつながりもあり、とてもよい勉強をさせていただいています。青葉校区はバリアフリーの暖かな校区と思っています。
その他・女性
変わりゆく歴史の話がきく事ができよかった！

6.インクルーシブ教育に関してのご意見や、日ごろお困りのことなどあればお書きください。

家族・女性	自分にできることを地道にしていこうと思いました。
家族・男性	とにかく単体の活動ではなく、連携による全体活動を目指さないと社会は変わらないことを改めて痛感。
40代女性	ソフト面で、地域の環境との関わり、地域の学校で学ぶことは大変良いことなのですが、ハード面では、整備された支援学校の方が良いのでしょうか。青葉校区のようにソフト面も充実できていると良いですね。何かしらの公的支援を受けようとしても高齢者のためのサービスのようになりがちで情報が得られません。高齢者のように手厚く福祉サービスが多くない事も納得できないですね。
学校関係・女性	青葉校区に住んでいます。地域住民に小・中・支援学校に通う子ども達が温かく見守られていると常に感じています。学校同士でもいつも交流(特に小学校)があり、子どもも小さい頃から理解があり、根づいていると思います。多くの皆さんの尽力がありご苦労もあった事などお聞きすることができ大変勉強になりました。一人一人の地道な活動が大切。自分にできることは何かを考えて、それを行動に移していきたいです。
家族・女性	特別支援学校の子供が高等部にいるが、通学にスクールバスが利用できず、自主登校のスキルを持ってない(知的重度、自閉)ので、親の送迎に課せられている。ヘルパーの通学介助は認められず、親の負担が大きい。放課後デイに頼らざるを得ない場合も多く、通学できる子、できない子のラインがはっきりしすぎている。できるようになるかもしれない子も、親が見届けるしか方法がなく、もう少し検討できないかなと思う。 親の意識や強い希望を持つことも大切で、発信する気持ちを忘れないようにしたいと思った。少なくとも、幼少期の共生は必要だと感じる。同じ空間の中に支援の必要な幼児に対応するインクルージョンのしくみが考えられないのかと思う。
	ボランティアへの一斉メールの案はすばらしいです。 全体的に内容は濃く、非常に学ばせてもらった。ボランティア、民生委員等、現場の生の声は説得力があった。
福祉関係・女性	中学3年生の親戚の子の進路の相談を受けますが・・・小さい頃から家庭での取り組みの難しさを感じています。家事能力は生きていく上でとても大事なことだと思いますが、本人の興味がうすく、どんなことに向いているかいろいろ試してみたりもされていますが、不器用な面もあり、手伝わそうとすれば時間と根気が必要です。親御さんの意識を将来必要な力を身につけるという視点で支援できたらと悩んでいます。
福祉関係・男性	まだ先になりそうですが、少しずつすすめることではないかと考えます。

福祉関係・女性
地道な活動であってこそ、少しずつ進んでいけるのだなと思いました。なかなか世の中は変わらないものですが・・・
福祉関係・男性
啓発という課題(テーマ)に焦点を当てたアプローチの在り方についての意見交換をしてみたい。
行政関係・男性
とてもいい内容で参考になりました。ありがとうございました。
その他・女性
自分の子供の中学校にも特別支援学級があり、PTA活動の中でのその学級の子供さんを育てていらっしゃる親子さんのことを思い出しその大切さを痛感いたしました。
福祉関係・女性
私が育った時代(昭和20年代)は養護学校もなく、クラスに1~2名の知的障害の方が一緒に学んでいました。班活動(グループ活動)をする場合は、その子が所属する班はドッチボールの試合でも、リレーでも必ず負けることになっていきますが、その子がいるのを承知の上で同じ班にいたので、その子に文句を言ったりいじめたりはなかったように思います。養護学校が果たしている役割も多大なものがありますが、もっと交流できる場、一緒に過ごす時間が必要な気がします。
民生委員・女性
見て見て思想→見える化が共生の原点なのかなと思います。その見えた時に自分にできることを素直に普通に行動して行きたいと思いました。
福祉関係・男性
福祉が特別なものでなく、全ての人にとって関わりのあるものであるという認識を皆が持つ社会へしていきたいですね。
家族・女性
青葉校区の子は障がいのある人に慣れている、という話がありましたが、それは青葉校区には小学校・中学校・支援学校などが集中しているから、地域性があるから、という話だけでは済ませてはいけないんじゃないか？と感じました。私も自分の娘のことだけではなく、地域に何ができるか？という視点で何か動けたら、と思いました。
学校関係・女性
見て見て思想⇒開く。「見える化」大切ですね。
学校の中で、教員一人一人の温度差もかなりあるのが悩みのたねです。「勝負」がからむとパッと「特学切りすてたい」気持ちがちラチラ見えたり・・・「そこにバシッと言うわけにもいかないしなあ」と思う自分もいて・・・やんわりと変わっていただけの方法を模索中です。

学校関係・女性
<p>特別支援学校があってラッキー！と校区の人が思ってくれるような存在になったらいいと思いました。「何かしたい」「役に立てる」という校区在住の人(ボランティア)の気持ちや行動を東福岡がうまくすくい取っているというのは希望だと感じました。WINWINの関係を作れる方法がきっとあると思えました。自分の仕事でいえば学校の中の特別支援学級の存在もそのようにあればいいのかな、とあくまでもさりげなく、けれどかくすことはせずに。ありがとうございました。</p>
その他・男性
<p>次回の講演も楽しみにしています。</p>
元教員・女性
<p>とてもいい話が聞けたと思っています。自分が自分の住んでいる地域で何ができるのか”よき隣人”自分の問題として考えていきたいと思いました。</p>
福祉関係・女性
<p>教育現場に差別解消法についてもですが、全く周知されていない学校もありおどろいています。障がいの有無に関わらず一人一人にきちんと向き合った教育を強く希望します。</p>
その他・女性
<p>(インクルーシブ教育)初めて聞く言葉でした。これからもボランティアができれば…と思っています。</p>